

部落解放同盟大分県連合会

2025 年度第 53 期定期大会 開催



県連は 8 月 5 日、第 53 回県連大会を大分市内の大分県労働福祉会館「ソレイユ」でひらき、役員・代議員など 116 人が出席した。

清田昌助・委員長は、7 月の参院選で吉田忠智・候補が勝利したことを報告。部落解放運動にとって節目の年であり、狭山闘争など当面する課題のほか、大分市の官製談合事件についても議論を、とあいさつした。議事では、活動報告、会計報告、監査報告、運動方針などを提案、承認した。

今年 2 月に発覚した大分市の官製談合事件で大分市内の支部長に執行猶予判決がだされたことをうけ、清田委員長が引責辞任を提案。多くの支部から「清田県連委員長のもと県連、各支部が団結して、組織を立て直すべき」という意見が続出し、「この厳しい難局を清田県連委員長とともに再建し、闘争していく」方向を全会一致で確認した。